

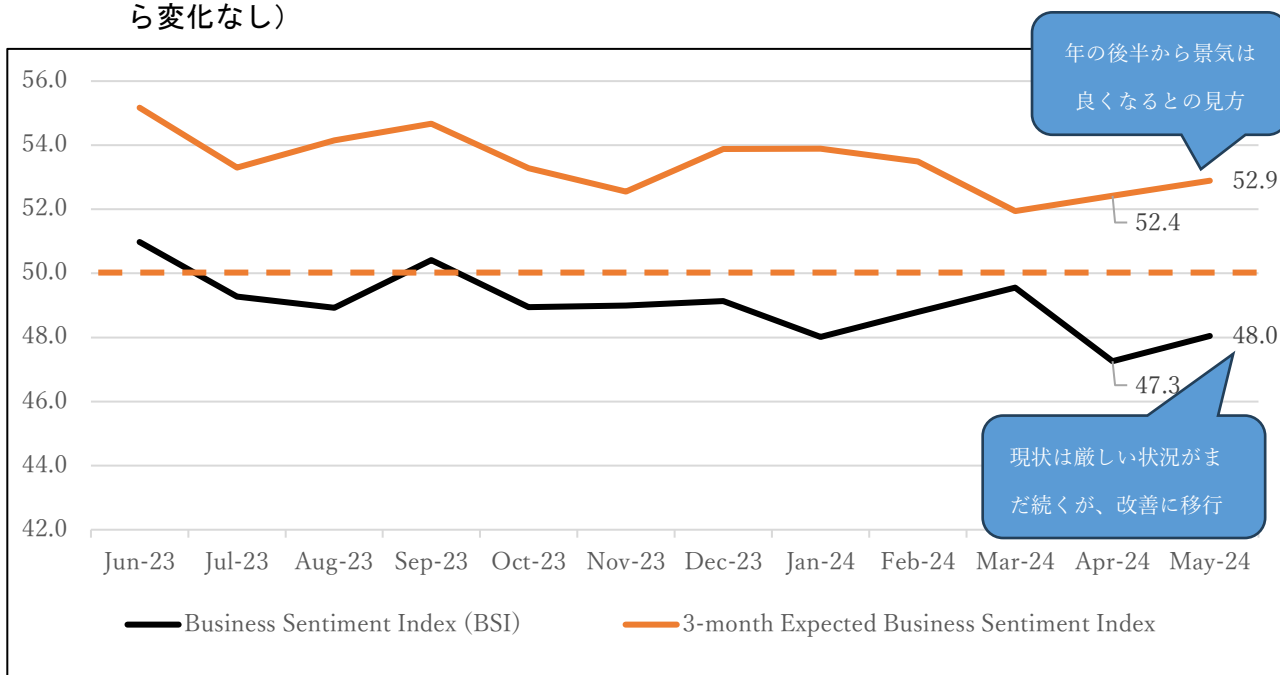
# タイ経済指標斜め読み

(2024年6月版)

ビジネスサポート部  
加藤義人  
kato@mat.co.th

## 1. 【指数：経済指数】

タイ中央銀行は、5月のビジネス景況感指数（BSI）を発表した。（指数：50＝前月から変化なし）



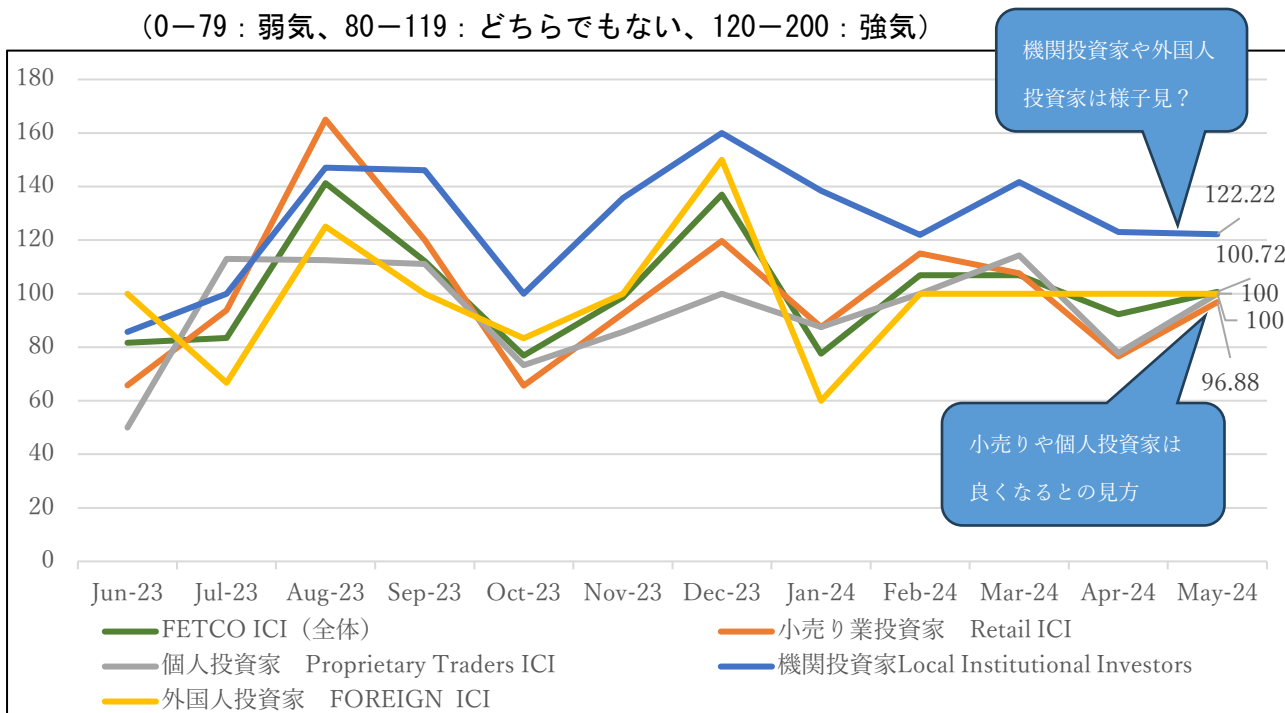
5月のBSIは48.0となり、前月から0.7ポイント改善となった。また、3か月後の期待値は52.9となり、前月から0.5ポイント改善となった。しかしながら、BSIは依然安定を示す50には至っていない。改善の要因として、主に製造業での改善が見られているが、非製造業では多くの部門で改悪となった。主に燃料価格高による輸送コスト増が挙げられている。次に3か月後の期待値だが、製造・非製造業ともに50を上回る値を示した。産業界関係者からは、年の後半は景気が回復していくとの見方が出ている。

出所：<https://www.bot.or.th/>

## 2. 【指数：景気指数】

タイ資本市場連合会（FETCO）は、5月の投資家指数（ICI）を発表した。指数は向こう三ヶ月（8月）の景気を0～200までの数値で計ったもの。

（0～79：弱気、80～119：どちらでもない、120～200：強気）



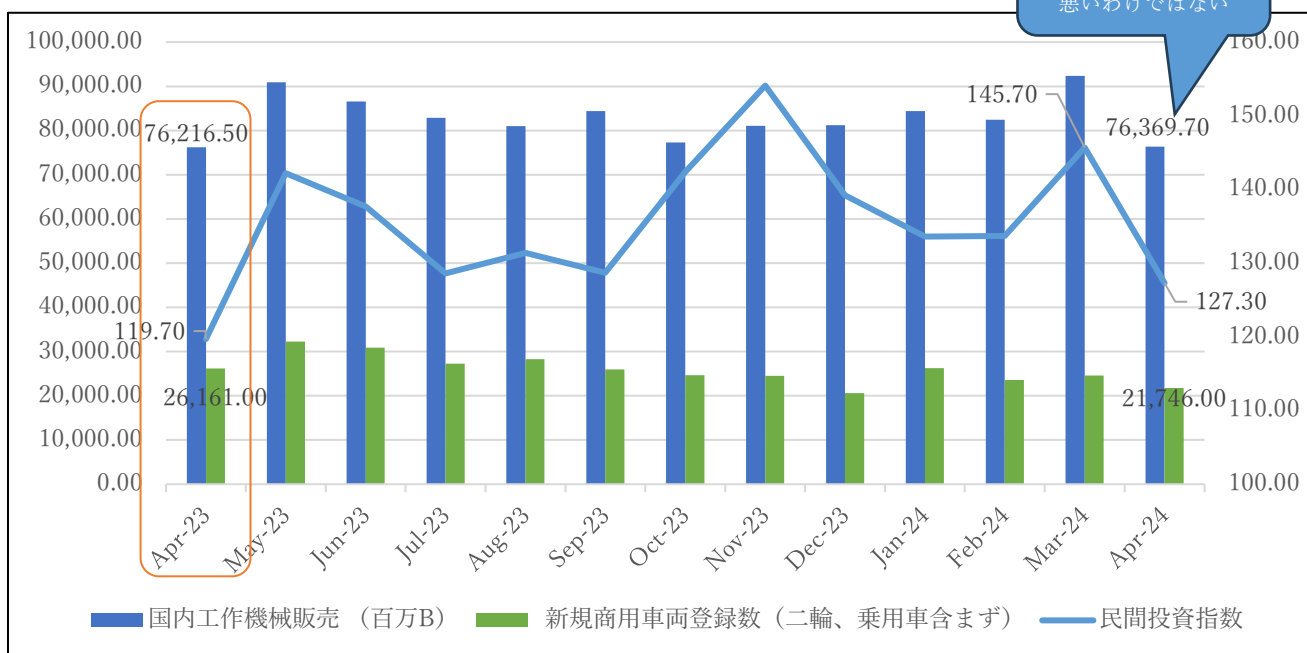
5月の全体ICIは100.72となり、前月と同様良くも悪くもない範囲に留まっている状況だが、前月から8ポイント回復した。個人投資家と小売業投資家のICIが前月から大きく改善となった一方、機関投資家は強気の範囲内を維持するが、前月から値が若干の低下。外国人投資家は様子見を続けている状況。タイ政府の刺激策に期待する一方、FEDの利下げ時期や国内消費の回復への期待、中国の景気回復時期などを模索する状況となっており、全体的に同指数が強気に好転するまでにはしばらく時間が必要。

出所：<https://www.fetco.or.th/>

### 3. 【指数：投資指数】

タイ中央銀行は、4月の民間投資指数を発表した。（2010年=100）

前年同月比で見れば  
悪いわけではない



4月の民間投資指数は127.3となり、前月の145から大幅に下落した。工作機械販売額や、商用車の登録台数などからも減少が認められる。一方、これを前年同月で見ると、同投資指数は119.7、国内工作機械販売台数は今年の方が良い数値を記録しており、ソクランなどの長期休暇の影響が出ているだけで、悪化しているとは言いがたい。ただ、国内自動車販売が低迷していることから商用車の登録台数も影響を受けていることが見て取れる。

出所：<https://www.bot.or.th/>

筆者紹介：2001年にタイ日系IT企業の責任者として赴任後、バンコク日本人商工会議所、タイ邦銀支店関連子会社などで企業・経済調査などを経験し2018年MAT社に入社、現在に至る。アメリカ、香港、ミャンマー、タイなど海外在住歴は30年以上。

2024 Material Automation (Thailand) Co., Ltd. All Rights Reserved.

本データは情報提供を目的として作成されたものであり、営利を目的としたものではありません。作成時点で、MAT社ビジネスサポート部が信ずるに足ると判断した政府が発表するデータに基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。掲載内容は毎月変更されます。報道目的以外での引用・転載については当社までお問い合わせください。